

「東京ソーシャルボンド」への投資について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、本日、東京都が地方公共団体として初めて発行を予定するソーシャルボンド（名称：「東京ソーシャルボンド」、5 年債 300 億円）へ投資することを決定しました。

ソーシャルボンドとは、社会的課題解決に要する資金を調達するために発行する債券です。東京ソーシャルボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った債券である旨、セカンド・パーティー・オピニオンを取得しています。

東京都は、2021 年 3 月に策定した「『未来の東京』戦略」において、人が輝く東京やサステナブル・リカバリーの実現を掲げており、本債券は社会的に支援が必要な人々を対象とする事業に活用されます。当行も、本債券への投資を通じ、社会的課題解決への貢献を果たしていきます。

〈みずほ〉は、環境保全や SDGs 達成に向けた資金の流れをつくる役割を積極的に果たしていくため、サステナブルファイナンス・環境ファイナンスの目標を設定しています。気候変動対応や脱炭素社会への移行をはじめとしたお客さまの SDGs/ESG への取り組みを積極的にサポートしていきます。

以 上